

山行報告				報告者	ボッカ石H
●山名	位山(1,529m)			山域	飛騨
●山行目的	ラチェットワカンを試す	●山行形態	積雪期登山		
●山行期間	2026年02月21日(土)			天候	快晴
●メンバー	CL	ボッカ石H	SL		
●コースタイム					
モンデウス飛騨位山スノーパーク7:38(11分)⇒7:49位山登山口7:50(38分)⇒8:28リフトトップ8:37(11分) ⇒8:48太奈山8:49(61分)⇒9:50天の岩戸9:51(19分)⇒10:10天の泉(10分)⇒10:20位山10:22(1分) ⇒10:23川上岳分岐10:24(4分)⇒10:28展望広場10:43(16分)⇒10:59天の岩戸11:00(62分) ⇒12:02太奈山(10分)⇒12:12リフトトップ(30分)⇒12:42位山登山口12:43(6分) ⇒12:49モンデウス飛騨位山スノーパーク 山行:4:39、休憩:0:32、合計:5:11、距離:9.9km、登り:665m、下り:665m					
●現地の状況及び感想その他					
<ul style="list-style-type: none"> ・登山ポスト施設玄関に有った。※モンデウス飛騨位山スノーパークの標高は899m ・前日の夜、星空と三日月が綺麗だった、朝ゲレンデを見ると2年前より積雪はなさそうだった、ゆっくり準備し夏道登山口を探ししっかりトレースのついた固めの登山道をツボ足で登る1.5km標高160m程ゲレンデ横を登るとリフトトップの展望台へ着いた。 ・展望台からは御嶽山⇒乗鞍岳⇒北アルプスが綺麗に見れた、リフトも動き出しスキー場では今日は何かの大会なのか？未来のオリンピック選手を目指しているのか子供達が元気に動いていた。 ・その風景を尻目に、ツボ足で行けるところまで行こうと再スタート、暫くすると「太奈山」からも北アルプスが見れた、そこから緩やかな登りで雪に埋もれた巨石を見ながら進むと「天の岩戸」の分岐に着き後1km弱で山頂へ。 ・前回と同様に山頂周りを周回へまずは「御嶽山展望地」⇒「乗鞍岳展望地」今年は、展望地の雪のベンチは雪が少ないせいかわかった、そのまま進み後50mで山頂の分岐からツボ足のトレースが有ったので「天の泉」まで寄り道、凍りつく寸前の「天の泉」だった、戻って山頂へ相変わらず冬は標識以外何も無い、そこから川上岳分岐のノートレースを確認し「展望広場」へ。 ・展望広場では、白山を正面に大休止し後から登ってくる登山者と挨拶する、食事を終え「ラチェットワカン」を装着して下山へ、ワカンでノートレースの場所を歩くが雪が固まっており余り沈まずに楽しい雪原歩きができた、「天の岩戸」の分岐から一周回って「天の岩戸」を確認し「巨石群登山口」への登山道をノートレースを確認した後、先へ進み登りで尾根下を歩いたがワカンで尾根歩きが出来たので鹿のトレースを崩しながら雪原歩きを楽しんだ、「太奈山」の木のベンチで小休止し登ってきたルートで「リフトトップ」へ戻る。 ・そこから休止ゲレンデで「ラチェットワカン」を楽しみながら降ろうとしたが斜面の角度がつくと靴が小さいせいか前のラチェットが外れやすい事が判明し片方のワカンを外して登ってきた来た登山道を降った。 帰って「ラチェットワカン」の「脱落防止ベルト」による強化を図らないと・・・ 					
●ヒヤリハット報告					
<ul style="list-style-type: none"> ・国道から現地まで夜の移動は道路が凍っているのに要注意。 ・現地での車中泊は、氷点下、トイレ利用可能。何故か？バトカーが夜見回りにしていた。 					
●事故の有無(有の場合その詳しい状況と原因、対策)					
・特に無し					
●準備段階での問題点とその対策					
・下呂方面の交通網下見も兼ねて下道で現地へ。					

